

それと、船会社あるいは旅行会社のビジネスの勢い、これに乗じて行っているんですよという言い方を私は認識しておりますが、この点、どうですか。私は、今の格好は先々、宿泊というよりは物を買いに来る島になってはいけないという思いがあるんですが、市長、ちょっと、その辺の感じについて、何かあれば。今の現状。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 議員のほうが、この対馬の韓国人観光客に陰りが見えると御心配をしていただくことは、大変ありがたいことだというふうには思っておりますけども、私自身も、実は、ことし岡山県瀬戸内市のやっぱり朝鮮通信使の祭りのほうに参席させていただいたときに、神戸の総領事の方と席が隣同士になったときに、いろんなことを伺いました。やはり、議員おっしゃられるように、韓国の方たちは近い、そして安い、また、気軽な気持ちで対馬に行っている方が多いですよというようなことをおっしゃっておられました。

そしてまた、今後の国と国との関係、心配するところもあるわけでございますけども、そういう関係についてはいかがでしょうかというお話を伺ったところ、いや、国と国とはいろいろあっても、対馬に訪れる観光客にはそんなに影響は及ぼさないというふうに私は思いますよというような、そういうお話も伺ったところでございます。

しかしながら、要は、我々としましては、やっぱりおもてなし観光ということで、極力いろんな調査をいたしまして、改善できるところは改善しながら、韓国人の観光客の誘致の増大に向けて、力を合わせてまいりたいというふうに考えているところではございます。

以上です。

○議長（小川 廣康君） 15番、大浦孝司君。

○議員（15番 大浦 孝司君） 残り16分を関連質問の船越議員に渡しますので、時間の都合上、これで終わります。

○議長（小川 廣康君） 引き続き、清風会、7番、船越洋一君。

○議員（7番 船越 洋一君） 清風会の船越洋一です。会派代表の淵上議員の韓国人観光客誘致の将来展望と対策、また、同僚議員の観光客の不満とその対策についての質問がされておりますが、私は、関連質問で積極政策の推進について、市長にお伺いをいたします。

日本全国の離島の中で、外国人観光客が30万人を超え年々増加している離島は対馬だけだと思います。この状況に満足することなく、危機感を持って積極的な政策を進め、満足度をアピールし、リピーターをふやしていかなければならないと思います。それには積極的な政策を打つ必要があると考えます。

そこで、市長にお伺いをいたします。

厳原構内にレストラン、カフェテラス、展望所、駐車場等、観光客また市民の憩いの場となる

施設の建設が、厳原港土地利用計画検討委員会が設置され、計画書もでき、何回か検討された経緯がありますが、その後、どのように進展しているのか、お伺いをいたします。

次に、厳原港は長崎県で5カ所ある重要港湾の一つであります。昭和30年から40年代にかけて変則貿易で多くの貿易船が入港し、厳原の町も大変潤った時代があります。地の利を生かした韓国との貿易に本格的に取り組み、韓国に木材、水産物の輸出、また、文化交流を進める必要があると考えます。

また、同僚議員からもさまざまな意見がっております。今後、韓国との友好をさらに深めていくためにも、これらを所管する、仮称ではございますが、国際交流課の新設をする必要があると考えますが、市長の考えを伺います。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 清風会、船越議員の御質問にお答えいたします。

ちょっとこちらが準備していた内容とかなり食い違いがありますので、私のほうがちょっとここからお答えをさせていただきたいというふうに思います。

まず、1点目の土地利用計画の中で、レストラン、そしてまた売店、トイレ、駐車場等が一応計画されているのは事実であります。ただし、これが今の段階で、いつからそういった計画がされるかというのはまだ未定でございます。

そういうことで、今後、民間事業者の方がこういったことでやりたいというような御提案をいただければ、対馬市といたしましても、検討に入りたいというふうに思っております。

そして、次に、2点目の厳原港の貿易の拡大についてでございますけれども、厳原港そして比田勝港につきましては、今、港湾の整備等も順次進められているところでございます。そういうところで、この貿易につきましても、今後さらに伸ばしていかなければならないというふうに考えておきまして、国交省の長崎事務所、そしてまた、県等ともそういったことを念頭に入れながら、整備計画等を進めてまいりたいというふうに考えているところでございます。

そしてまた、3点目の国際交流課を新設してはいかがかということでございますけれども、今現在の課の関係、観光商工部門のほうでもそんなに不足はしておりませんが、今、対馬市が国際交流を進めていく中で、この本日の質問は御提言ということで、こちらも受けとめさせていただければというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 建設部長、小島和美君。

○建設部長（小島 和美君） 先ほどの土地利用活用検討委員会、平成26年度に開催をされ、都合4回会議がなされておきまして、先ほど言われましたような駐車場とか、展望台、売店等々の計画がそのときに、市のほうに提言書として上げられております。

先ほど、市長が発言しましたように、現在のところ、その提言書に基づいた具体的な計画はまだできておりません。

今後は、そういった民間の活力等を利用しながらというか、活用しながらそういう御計画のある方については意見を聞いて、いろんな形で協議をしたいと思っておりますけど、港湾区域の修景構成区分ということで多少の制約等はございますけど、そこら辺はまた協議しながら、もしそういう方がおられれば、今後、十分に協議していきたいと考えております。

○議長（小川 廣康君） 7番、船越洋一君。

○議員（7番 船越 洋一君） まず、この港湾土地利用計画検討委員会の件なんですけど、これはもう立ち上がって3年くらいたっています。で、せっかく立ち上げたものが、今現在もまだ進行していないということであれば、そういう計画をつくる必要はないんです。で、計画をつくった以上は、その計画が、それをつくることによってどう変わっていくんだということのもとに計画をしてあると思うんです。全く進んでいないじゃないですか。やる気がなかったら、こういうものは最初から立ち上げないわけです。私はそう思いますよ。何もかにも立ち上げとって、それから、ああ、これは今検討しております。これは検討しておりますということでは、物事は先に進みません。私はそう思います。だから、もう少ししっかり取り組んで、今、観光客がこんだけ来よるんですから、それにはどう対応せにやいかんかということは、市が考えることでしょう。民間が考えるんですか。民間の協力もいただきながら、それを先に進めていくのは市の仕事ですよ。たるんどるんじゃないですか、あなたたちは。もう少し真剣にそこら辺を取り組んで、対馬市が今後どうなっていくということをしっかり考えていただきたい、このように思います。

それから、次に、貿易の件ですけど、これ、私調べてきたんですが、韓国との貿易については、昭和27年に季承晩ラインが設定されました。それから、それが41年、日韓漁業協定に基づいて撤廃されました。しかし、その間、昭和30年から43年までの間、私は入港数をちょっと調べてきました。控えとってください。昭和30年、90隻、5,670万、31年、363隻、4億5,850万、32年、447隻、3億6,640万、33年、589隻、4億5,200万、34年、978隻、10億2,700万、この当時は、厳原町の中に貿易商社が39社ぐらいあったそうです。

それから、35年には竹の輸出がされております。40年に入りましたら、30隻、で、1,990万、41年が1億3,580万、42年が128隻で、2億684万、43年が161隻で、2億7,140万。

こうしますと、重要港湾があるがゆえに、こういう貿易ができとるわけです。確かに季承晩ラインがあったから、日本のほうは受け入れができるんですが、韓国からは密貿易なんです。片方は受け入れて、片方は密貿易ですから、これは変則貿易になるわけです。対馬、厳原にはこうい

うふうな経緯があるわけです。

だから、そういうことも踏まえた中で、こういうふうに通すと何億という金が動くんです。それによっていろんなことがまた変わってくるはずなんです。そういうことを含めた中で、貿易をやったらどうかと、しっかりやるべきじゃないかと、そういうことも含めた中で、その新しい課の新設、国際交流課をつくって、真剣にそれを取り組んでいって、韓国との貿易、それから、友好とか、文化交流とか、そういうことがしっかりできる課をしっかりつくって、そして、受け入れ体制もしっかりやっていく。その中で、受け入れの人口もふやしていく。そういうことを構想的にしっかり持った中で行政ちゆうのは私はやっていかんやいかんと思うんです。どうでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 貿易の拡大につきましては、議員おっしゃられるように、今後もこの貿易の拡大は目指していかなければならないということで、今、巖原港そして比田勝港もみなとオアシスの指定も受けまして、それに向けて進めていく予定としております。

それから、その貿易拡大のための課の新設と申しますか、そこにつきましては、機構改革の関係もございますので、先ほども申しましたように、本日は御提言としてまたお聞きしておきたいというふうに思います。ありがとうございます。

○議長（小川 廣康君） 7番、船越洋一君。

○議員（7番 船越 洋一君） 長崎県でも今年度は長崎県文化観光国際部というのができています。やっぱり国際的に長崎県も取り組んでいこうということで部ができたと思うんです。

ところが、対馬の場合には、今、対馬市国際交流協会ですか、これが韓国の釜山事務所を委託みたいなもんでやっているんですが、これぐらいのことで本当にいいと思っているんですか。そこに委託しとったその窓口だけで、流入人口をふやします、ふやしますと言うていますが、そこに頼り切っとなっていいんですか。観光商工部の課長が月に1回か2回か行くでしょう。それでどうなるんですか。それぐらいの中途半端なことをやっとして、韓国人観光客には来てください、来てくださいと。それは、そういうわけにはいきません。もう少し腹を据えて受け入れ体制をしっかりやる。そういうところはしっかりつくるべきです。私はそう思いますよ。ぜひ、市長にもこうやって言いましたけども、今、対馬から釜山に活魚なんかを出しているんですが、ここをちょっと聞いてみますと、10トン車をチャーターして行きますと、運賃だけで五、六十万かかるそうです。中身の魚は別にして。採算は合いません。

だから、そういうことを考えると、こういうことをしっかりやってやれば、対馬の産品は、水産業にしても、木材にしても、韓国にすぐ出ていくんです。そういう対馬の人たちが利益が上がるようなことも考えてやらんやいかんわけです。それが行政の仕事でしょう。ひとつ検討をよろ

しく願います。

それから、時間がもう2分しかありませんのでやれませんが、私、後日、一般質問をさせていただくように通告しております。その中で、観光客の誘致による活性化という項目が上がっております。その中でもう少し市長と詰めてお話をしてみたいと思いますので、よろしく願いをしておきます。

終わります。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで清風会の会派代表質問は終わりました。

以上で、本日予定しておりました会派代表質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 昼食休憩といたします。再開は1時30分からといたしまして、一般質問を行います。休憩します。

午後0時29分休憩

午後1時28分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

## 日程第2. 市政一般質問

○議長（小川 廣康君） 日程第2、市政一般質問を行います。

本日の登壇者は2人を予定しております。

それでは、届け出順に発言を許します。5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） 皆さん、こんにちは。5番議員、会派つしまの小島徳重です。一般質問に入りますが、質疑の中でパネルを使用することがあります。議員の皆様方のタブレットにも、事務局のほうで情報を入れていただいておりますので、必要があれば御参照ください。それでは、通告に従い、4項目お尋ねいたします。

1項目めとして、学校へのエアコン設置に向けた準備状況についてお尋ねします。

エアコン設置については、9月定例会一般質問での答弁を受け、本定例会に補正予算第5号で設置に向けての予算が計上されています。現場の状況、声を受け設置を提言した者としては感謝を申し上げたいと思います。財政事情が厳しい中での事業化は、御苦労が多いと考えます。

そこで、1点目として尋ねたいのが、本事業について、国は自治体負担を軽減する旨の報道がなされていますが、市の実質的負担は幾らぐらいになるのか、お尋ねをします。

2点目は、国は来年夏までに設置すべきであるとの方針を打ち出していますが、対馬市の設置の時期はいつになるのか確認をしたいと思います。